

こんにちは♪ いよいよ明日から**図書館フェア**が始まります！ 3つのイベント、**雑誌のバックナンバーをあげちゃうフェア**としおりイラストコンテストと**ハロウィン**が幕を開けます！

まずは**雑誌のバックナンバーをあげちゃうフェア**！ 図書館の雑誌の古いものをタダであげちゃいます。雑誌は1年間保管しておくので、その前のものが対象となります。お宝が続々です！ 早い者勝ちです！ 何冊でも構いません！ もうみんな欲しいモノに目をつけているよね？ では、明日の朝早くにお会いしましょう！

しおりイラストコンテストは、昨日で応募を締め切り、今日からみんなに展示してあるものを審査して“**推し**”イラストを投票してもらいます。キミの1票が、印刷される10枚のしおりを決定します。がんがん投票してください！

そして、みなさんお待ちかねの**ハロウィン**ですね！「めっちゃ、ハロウィンじゃん！」 図書館はハロウィン一色です♪ いつもは天使のせーやさんも悪魔に変身し、**本を借りてくれた人には、もれなくお菓子をさしあげます！** 本をめいっぱい借りて、たっぷりとお菓子をもらってください！

さあ、いよいよ明日は**図書館フェア**開催です！

HAPPY HALLOWEEN!

『ばけねこぞろぞろ』 石黒亜矢子 あかね書房

ハロウィンらしい本をまた1冊。妖怪絵師のばけもの絵本！ タイトル通り、出てくるばけものはみんなばけねこ。にゅっぺらぼう、にゃっぱ、にゃらげ、みあげにやうどう…。ねこの妖怪ばかりが登場するので、ねこ好きにはたまりません！

ねこをいじめてばかりいるおれは、かあさんに「おまえ いかねこに しかえしされるよ。どんなに おそろしいかわからないよ」と言われた。やけにのらねこが多かった日の夜、かいねこのトンが立っていて、「ねこはみんな化ける、今夜襲いかかってくるから、逃げ出さないとヤバイ」と連れ出された…。

せーやさんフィギュアコレクションあり♪ いばりちらしている十二支の動物たちと、干支になれなかったへたれの十二匹の動物たちが闘う『**えとえとがっせん**』もオススメ！

『お悩み相談 そんなこともアラナ』 ヨシタケシンスケ

白泉社

あのヨシタケさんの「お悩み相談」の本！と言っても、回答者が「元気のない歴 50 年」「元気のない人の考え方のプロ」のヨシタケさんですから、フツの「お悩み相談本」ではありません！「元気のある人」は端っから相手にはなしていません。自分の元気を問題解決に使えるからです。相談者はみなネガティブな「元気のない人」。問題に立ち向かうのではなく、問題から逃げて、遠ざかることに軸足が置かれます。「『どうすればうまくいくか』ではなく、『うまくいなくてあたりまえ』。『理想に何点足りないか』ではなく、『最悪の状態から何点プラスなのか』。『性善説より性悪説』。めざすのは、「美しい逃げ方」「楽しいあきらめ方」なのです。試しに章ごとのタイトルを見てみましょう。「『うまくいくはずだ』という前提をまず疑いましょう」。「生きづらさを抱えた人だけが放つ魅力っていうのがあるんです」。「友だちがいなくても、一人で何かを楽しそうにやっている人が格好いい」…。これらの言葉が刺さる人は必読です！

「たとえどんなに良いことが起きなくても、良くないことが起きても、『まあ、そんなこともアラナ』とつぶやきながら、苦笑いしていこうじゃありませんか」。

『爆弾』 呉 勝浩 講談社

中年男がアップで「ヒッヒッヒ」と笑うTVCMなど、焦らしに焦らしたあとで、ハロウィンにようやく公開となりました！

酔った勢いで酒屋の自動販売機を蹴りつけ、止めに来た店員を殴って逮捕されたスズキタゴサク（このふざけた名前！）四十九歳。とぼけた外見にとぼけた返答。スズキは、取り調べの最中に「刑事さんの役に立つ」から被害者を説得してくれと言いつ出した。靈感があるから、何か事件が起きるのを事前に予告して伝えるのだという。聞きもしないのにスズキは十時に秋葉原で何かあると告げる。すると果たして、十時に秋葉原で爆発事件が起きる。さらにスズキは「ここから三度、次は一時間後に爆発します」と予告するのだった。こいつは何者だ？ 一転してスズキは連続爆破テロ事件の容疑者かつ無差別に都民の命を狙う爆弾魔と目されるが、あいかわらずの態度でしゃべりすぎなほどにペラペラと身の上話や過去を語り、尋問者にゲームやクイズを持ちかけるのだった…。

嫌悪の対象のスズキがここまで憎たらしくなるのは、自分の中にもまたスズキがいるのに気づかされるから。「この街に隕石が落ちてしまえばいいのに」。

『ミーツ・ザ・ワールド』 金原ひとみ 集英社

「新しい世界に連れて行ってあげる」。柴田錬三郎賞受賞作が、杉咲花主演で映画化！ 推したい腐女子と死にたいキャバ嬢の物語。27 歳銀行員の由嘉里はガチオタの腐女子だ。焼肉擬人化マンガ（焼肉の部位がそれぞれ性格づけられイケメンに擬人化されてBL展開する！）『ミート・イズ・マイン』をこよなく愛している。現実の男とつきあったことはない。そんな彼女だが孤独を解消したい世間に一人前と認められたいみんなしてるしと婚活に目覚め、人生二度目の合コンに参加するが撃沈。夜の歌舞伎町で酔い潰れているところを美しいキャバ嬢・ライに拾われ、「あなたみたいになりたかった。あなたみたいに生きたかった」と告白して思い切り嘔吐した。彼女の部屋に連れて行かれるとこれがとんでもないゴミ屋敷で、ライは死にたいと思っている女の子だった。現実がどんなに楽しくても充実していても死ぬのだという。ライの汚部屋を片づけて、由嘉里はライと同居生活を始めることになる。「生まれてこのかた傍観者で観察者で、現実には1ミリだって触れたことはない」由嘉里は、ライと出会ったことで容赦のない現実へと飛び込んでいくのだが…。

エッセイ集『踊り場に立ち尽くす君と日比谷で陽に焼かれる君』も！

『春の星を一緒に』 藤岡陽子 小学館

シングルマザーで看護師の奈緒は、夫と離婚すると、京都の田舎の実家へと帰ってきた。息子の涼介と父親と3人で仲睦まじくやってきたのだが、最近高2になった息子のことがよくわからなくなっている。今回、学校に呼び出されたのも、進路志望書をぜんぜん出さずにいたからで、奈緒はまったく進路志望の話が聞かされていなかったのだ。三者面談の場で、担任の前で書きつけたのは、近畿で名の知れた高ランクの大学ばかりで、すべて医学部だった。担任には「己を知れよ」と大笑いされたが、涼介は本気だった。奈緒の同僚で、地域の診療所と兼務し、訪問医療もこなしてる三上先生に憧れていたからだ。三上の実の母親は乳児のときに家を出て、それから祖母と父親と3人で暮らしていたが、父親が重度のアルコール依存症で日常的に暴力を振るわれていた。祖母の介護も三上が一人でやっていて、祖母が亡くなった直後、小6で児童養護施設に入所し、中1で里親の養子になっていた。そして、養父母に恩返しするために猛勉強をして医者になったのだ。三上のようにになりたい。三上はいま東京の緩和ケア病棟に誘われていた。涼介の受験のためにも、東京に出て同じ職場で働くことを勧めるのだった…。

『パンチラインの言語学』 川添 愛 朝日新聞出版

パンチラインとは名ゼリフのこと。この本は名ゼリフを名ゼリフたらしめているのは何かを言語学的に分析した本です。たとえば、ガンダムの「偉い人にはそれがわからんのです（よ）」。シャアがジオングで出撃するときに、名もなき整備士が言ったものですが、著者はTV版ではあった「よ」が、映画版で削除されていることに注目します。果たして印象はどう変わったのか。「ザクとは違うのだよ、ザクとは！」「君はいい友人であったが、君の父上がいけないのだよ」にも応用可能です。『**北斗の拳**』のラオウの「わが生涯に一片の悔いなし!!」については、漢文の書き下し文っぽいとしつつ「古文的な表現は男気の表現であり、漢文の『漢』はまさに「漢^{おとこ}」なのではないだろうか」。

『ばくうどの悪夢』 澤村伊智 KADOKAWA

ハロウィンと言えばホラー、ということで極上のそれを最後に。

『来る』というタイトルで映画化もされた『**ぼぎわんが、来る**』を読んでしまうとあまりの面白さ（怖さ！）に必ず他のすべての作品も読破してしまわずにはいられない、澤村伊智さんの<比嘉姉妹>シリーズ長編最新刊がようやくの文庫化！彼の力量に圧倒される大傑作です！

冒頭で産科病棟での凄まじい大虐殺の惨状が描写されますが、ここで放り出してはいけません。この本はそれだけの作品ではないのですから。「眠れば、あなたは死ぬ」。眠れない。眠って夢を見たら、夢のなかであれが追いかけてきて殺されてしまうから。繰り返し見る悪夢。夢のなかで受けた傷が目覚めると痣になる。グループの一人が突然死する。夢に殺されたのか。残りのメンバーも同じ悪夢を見て、痣を残していた。夢のなかに現れて命を奪うばくうどから逃れる術はあるのだろうか？

本の前半で物語は一応の解決を見せます。しかし、話者が交代し、前半で登場した人物たちのキャラ設定がみな異なる後半では、ばくうどは辛い現実を忘れさせ、望みをすべて叶える理想の世界を夢で見せ、幸福で満たされた魂を喰らう存在として描かれます。夢か現実かわからなくなることが、一番怖い。

◎しおりコンテスト、絶賛展示中！ 推しへの投票をよろしく！

————— 「Trick or treat !」 もれなくお菓子をさしあげますので、イタズラはやめてください！ では、ハロウィンを図書館で☺！